

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月15日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン  
 コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年3月21日～平成25年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,187	△3.7	531	△7.4	540	△3.2	317	△2.1
25年3月期第2四半期	2,270	—	574	—	558	—	324	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 316百万円 (△2.3%) 25年3月期第2四半期 324百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	42.29	41.19
25年3月期第2四半期	56.19	—

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権を発行しておりますが、当社株式は非上場であったため期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 当社は、平成25年8月21日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	5,019	4,035	80.4	537.61
25年3月期	5,627	3,869	68.8	515.42

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,035百万円 25年3月期 3,869百万円

(注) 当社は、平成25年8月21日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	40.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年3月期配当40円00銭の内訳につきましては、普通配当35円00銭、記念配当5円00円となっております。

3. 平成26年3月期配当予想につきましては、株式分割後の配当となっております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年3月21日～平成26年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,594	2.8	999	1.1	994	2.0	564	5.8	75.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	7,507,200株	25年3月期	7,507,200株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	7,507,200株	25年3月期2Q	5,768,400株

(注) 当社は、平成25年8月21日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明会資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成25年10月18日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済・金融政策により円安・株高が進み、企業収益に改善が見られ国内景気は回復の兆しが見えるようになりました。一方で個人消費においては、一部で改善が見られるものの消費税増税や雇用状況等の不安は払拭されず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

美容業界におきましても、新規顧客獲得数の減少、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営にとって厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは当第2四半期連結累計期間の営業テーマを「選択と集中」、そして営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートに取り組みました。

また、A・C・Sサロン※注2登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で6,200軒(前期末比287軒増)獲得しております。

A・C・Sサロン登録軒数は順調に増加しておりますが、新規サロンが取扱アイテムを拡充しつつ店販売上を増加させるためには、カウンセリングスキルや商品知識を得るための教育と、カウンセリング成果を出すまでの時間が必要となります。そのため、当社グループは現在「顧客支援体制の強化」を重点課題としておりますが、当第2四半期におきましては、その課題に対し十分な行動をとることが出来ず、不十分なサロンフォローとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,187百万円(前年同期比3.7%減)となりました。利益面では、営業利益531百万円(前年同期比7.4%減)、経常利益540百万円(前年同期比3.2%減)、四半期純利益317百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
スキンケア	1,017	44.8	988	45.2	△28
ヘアケア	1,344	59.2	1,283	58.7	△61
その他	68	3.0	69	3.1	0
売上割戻金	△159	△7.0	△153	△7.0	6
合計	2,270	100.0	2,187	100.0	△83

(注) 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別の売上高の概要は以下のとおりであります。

#### (スキンケア)

スキンケアの売上高は、年間販促計画に則したキャンペーン活動が順調に推移いたしましたが、近年登録したA・C・Sサロンへの継続的なフォローが十分ではなかったため、「Step by Step」によるヘアケア商品からスキンケア商品への誘導が進まず、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は988百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

#### (ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、店販商品の購入誘導となるサロンでのヘアトリートメント施術関連機器のリニューアルが下期にずれ込み店販の商機を逃すとともに、昨年のヘアケアリニューアルキャンペーン特需が2年目の当期は平準したことや、当第2四半期連結会計期間でのRe:V&Vシリーズのキャンペーンが不調であったこと、近年登録したA・C・Sサロンへの継続的なフォローが十分ではなかったこと等により前年同期を下回っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,283百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

(その他)

その他区分の中のMAPシステム<sup>※注3</sup>におきましては、引き続き専任者が全国を巡回し、導入しているサロンへのフォローや見込店への勉強会を行い、サロン経営のサポート体制強化に努めた結果、当第2四半期連結会計期間末における契約件数は189件（前期末比29件増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は69百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回到100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して607百万円減少し、5,019百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して759百万円減少の3,092百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少890百万円、売掛金の増加58百万円、商品及び製品の増加53百万円、前払費用の増加42百万円、繰延税金資産の減少18百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して151百万円増加の1,926百万円となりました。主な変動要因は、機械及び装置の増加17百万円、工具、器具及び備品の増加4百万円、リース資産の増加4百万円、有形固定資産の減価償却による減少9百万円、製造委託会社との関係強化及び余資の運用による投資有価証券の増加171百万円、保険積立金の減少38百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して318百万円減少の596百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加91百万円、1年内返済予定の長期借入金を繰上返済したことによる減少266百万円、未払法人税等の減少133百万円、預り金の減少4百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して456百万円減少の386百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金を繰上返済したことによる減少486百万円、リース債務の増加16百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して166百万円増加の4,035百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加167百万円によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で獲得した資金を、投資有価証券の購入、借入金の返済及び配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて914百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,540百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は183百万円（前年同期比38.9%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益535百万円の計上、仕入債務の増加額91百万円による資金の増加が、売上債権の増加額58百万円及びたな卸資産の増加額43百万円並びに法人税等の支払額328百万円による減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は176百万円（前年同期比219.6%増）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出172百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は924百万円（前年同期比411.2%増）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出753百万円、配当金の支払額149百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回発表（平成25年4月18日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,887,618	1,997,265
売掛金	389,796	448,328
商品及び製品	384,698	438,322
原材料及び貯蔵品	43,467	33,471
その他	153,049	182,140
貸倒引当金	△6,286	△6,742
流動資産合計	3,852,343	3,092,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	722,348	724,092
その他	550,351	577,478
減価償却累計額	△257,894	△266,938
有形固定資産合計	1,014,805	1,034,632
無形固定資産	68,326	67,824
投資その他の資産		
その他	692,138	824,410
貸倒引当金	△79	△79
投資その他の資産合計	692,058	824,330
固定資産合計	1,775,190	1,926,787
資産合計	5,627,533	5,019,571
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,385	169,980
1年内返済予定の長期借入金	266,652	—
未払法人税等	272,790	139,275
賞与引当金	71,888	73,152
その他	225,362	214,469
流動負債合計	915,079	596,876
固定負債		
長期借入金	486,646	—
退職給付引当金	30,033	30,225
役員退職慰労引当金	291,000	300,999
資産除去債務	23,640	23,931
その他	11,785	31,617
固定負債合計	843,106	386,774
負債合計	1,758,185	983,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	657,501	657,501
資本剰余金	617,433	617,433
利益剰余金	2,594,329	2,761,639
株主資本合計	3,869,264	4,036,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	△654
その他の包括利益累計額合計	83	△654
純資産合計	3,869,347	4,035,920
負債純資産合計	5,627,533	5,019,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
売上高	2,270,832	2,187,781
売上原価	820,494	749,094
売上総利益	1,450,338	1,438,687
販売費及び一般管理費	876,327	907,152
営業利益	574,010	531,535
営業外収益		
受取利息	141	154
受取配当金	54	50
為替差益	—	3,534
保険解約返戻金	929	20,232
雑収入	721	2,461
営業外収益合計	1,847	26,432
営業外費用		
支払利息	5,805	2,041
借入金繰上返済費用	—	9,118
為替差損	4,801	—
株式公開費用	7,111	—
支払手数料	—	4,000
雑損失	81	2,424
営業外費用合計	17,801	17,584
経常利益	558,056	540,383
特別損失		
固定資産除却損	156	492
リース解約損	—	4,221
特別損失合計	156	4,714
税金等調整前四半期純利益	557,899	535,669
法人税、住民税及び事業税	301,930	198,202
法人税等調整額	△68,158	20,012
法人税等合計	233,771	218,215
少数株主損益調整前四半期純利益	324,128	317,453
四半期純利益	324,128	317,453

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,128	317,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△737
その他の包括利益合計	33	△737
四半期包括利益	324,161	316,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,161	316,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	557,899	535,669
減価償却費	36,979	39,837
貸倒引当金の増減額(△は減少)	383	456
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,316	1,263
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,272	191
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,499	9,999
受取利息及び受取配当金	△195	△204
支払利息	5,805	2,041
為替差損益(△は益)	4,617	△3,193
保険解約返戻金	△929	△20,232
借入金繰上返済費用	—	9,118
株式公開費用	7,111	—
支払手数料	—	4,000
固定資産除却損	156	492
リース解約損	—	4,221
売上債権の増減額(△は増加)	△88,024	△58,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	△223,577	△43,627
仕入債務の増減額(△は減少)	190,123	91,594
その他	△39,277	△59,727
小計	463,161	513,369
利息及び配当金の受取額	211	247
利息の支払額	△6,238	△2,096
法人税等の支払額	△157,070	△328,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,063	183,422
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,974	△25,986
無形固定資産の取得による支出	△13,947	△11,301
投資有価証券の取得による支出	—	△172,342
定期預金の預入による支出	△24,050	△24,060
保険積立金の積立による支出	△11,806	△15,238
保険積立金の解約による収入	2,392	73,541
その他	58	△1,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,328	△176,830
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△138,326	△753,298
リース債務の返済による支出	△6,510	△8,323
配当金の支払額	△28,842	△149,404
その他	△7,111	△13,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,789	△924,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,599	3,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	59,345	△914,413
現金及び現金同等物の期首残高	1,472,643	2,455,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,531,989	1,540,590

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。